

定住自立圏構想

中 心 市 宣 言 書

平成 23 年 10 月 11 日



松 阪 市

定住自立圏 中心市宣言

松阪市は、三重県のほぼ中央部に位置し、東は伊勢湾に面し、西は台高山脈・高見山地・紀伊山地が連なる山岳地帯が広がり、海と山に囲まれた豊かな自然環境に恵まれた地です。古くは伊勢街道や和歌山街道など、伊勢神宮と各地とを結ぶ街道の結束点であったことから交通の要所として大いに賑わいを見せ、また日本三大商人のひとつに数えられる松阪商人が江戸や京で活躍するなど、全国有数の商業都市として発展してきました。現在も、伊勢志摩・東紀州地域と名古屋・大阪を結ぶ道路・鉄道が通り、近年では中部国際空港への海上アクセスが就航するなど、南三重の玄関口として、そして中南勢地域における生活と経済の中心地としての役割を担っています。

特に、本市と多気郡３町（多気町、明和町、大台町）は、高速道路及び幹線道路と鉄道によって結ばれ、本市はそのなかで古くから住民の生活や経済、交流の中心都市としての役割を果たしてきました。これまでも、救急医療や福祉、産業など、幅広い分野で行政区域を越えて連携を行ってきており、本市と周辺町との絆は深く結ばれたものであると言えます。

また、わが国では人口減少社会が訪れ、特に地方においては少子高齢化と大都市圏への人口流出による急速な人口減少が進行することが想定されています。さらには、近年のグローバル化の進展や地域経済の低迷など、地方を取り巻く社会環境は著しく変化し、地方圏における情勢はますます厳しくなることが考えられます。このようななか、地方自治体は個々の魅力を生かした「選択と集中」によるまちづくりを進めるとともに、周辺市町が互いに連携を深め、市域を越えた広域的な取組を実践することにより、圏域全体の魅力を高め、周辺市町が一体となって地域課題に対応していく必要があります。

そこで、本市は中南勢地域の中心都市としての自覚を持ち、特に関係の深い多気郡３町を中心として形成する定住自立圏の中で中心市としての役割を担い、生活圈・経済圏をともしにする周辺町とこれまで以上に連携、協力して魅力ある地域づくりを進めることで、地域の活力を高めるとともに、圏域に住む住民すべてが幸せを実感できる地域にしていけることを目指して、全力で取り組んでいくことをここに宣言します。

平成 23 年 10 月 11 日

松阪市長

山中光茂

1 都市機能の集積状況及び周辺町の利用状況

(1) 松阪市における都市機能の集積状況

本市は、古くから中南勢地域の中心都市として発展してきたことから、住民の快適な生活や、地域経済の発展に係る都市機能が集積しており、定住自立圏の中心市としての役割を果たすための機能が整っていると言えます。本市の行政及び民間分野における都市機能の集積状況は次のとおりです。

分野	都市機能		施設名等
医療	総合病院 (二次救急指定病院)		(公立) 松阪市民病院 (民間) 松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院
	休日・夜間診療		松阪市休日夜間応急診療所、松阪市歯科休日応急診療所
福祉	高齢者福祉施設		養護老人ホーム 2 か所、有料老人ホーム 10 か所、特別養護老人ホーム 9 か所、特別養護老人ホーム(地域密着型) 3 か所
	障がい者施設		障害者福祉センター
	健康増進施設		1 か所(厚生労働省認定の運動型健康増進施設)
	保育施設		公立 22 か所、私立 14 か所
教育 文化 スポーツ	大学		三重中京大学(※平成 25 年 3 月末日をもって閉学の予定)
	高等学校		(県立) 松阪高等学校、松阪工業高等学校、松阪商業高等学校、飯南高等学校 (私立) 三重高等学校
	専門学校		松阪看護専門学校、さわやか福祉専門学校
	専修学校		三重県農業大学校
	文化施設		文化会館等 4 か所
	スポーツ施設		中部台運動公園、阪内川スポーツ公園 他
観光 娯楽	交流拠点施設(道の駅)		飯高駅、茶倉駅
	農業公園		松阪農業公園ベルファーム
	都市公園		松阪公園(松坂城跡)、鈴の森公園 他
	史跡・文化財等		松坂城跡、御城番屋敷、本居宣長旧宅、宝塚古墳 他
	資料館		歴史民俗資料館、松阪商人の館、本居宣長記念館、松阪市文化財センター はにわ館、小津安二郎青春館、松浦武四郎記念館、嬉野考古館(嬉野ふるさと会館)
	レジャー施設		松阪競輪場
商業	大型商業施設 (平成 23 年 4 月 1 日現在)		店舗面積 1,000 ㎡以上 35 店舗 (うち 10,000 ㎡以上は 4 店舗)
	金融 機関等	銀行・信用金庫・労働金庫等	本店 2 か所、支店 33 か所(出張所含む)
		郵便局	41 か所(簡易郵便局含む)
		J A(本・支店)	J A 松阪 16 か所、一志東部農協 3 か所

分野	都市機能	施設名等
交通	鉄道駅	J R東海 5 か所、近鉄 7 か所
	道路	(高速道路) 伊勢自動車道 (国道) 23 号、42 号、166 号 他
	バス(本市と周辺町を結ぶ路線)	路線バス 3 系統、南紀特急バス
	航路	松阪ベルライン(松阪港ー津新港ーセントレア)
国・県・ 広域行政 機関等	国関係	松阪税務署、松阪労働基準監督署、津地方法務局松阪支局、 松阪公共職業安定所、津地方裁判所松阪支部、津地方検察 庁松阪支部
	県関係	三重県松阪庁舎(松阪県民センター他)、三重県地方卸売 市場、三重県松阪食肉公社 他
	警察	松阪警察署
	消防	松阪地区広域消防組合
	その他広域行政機関	松阪地区広域衛生組合

(2) 周辺町の利用状況

① 中核的な医療機能

本市における救急医療体制は、救急指定病院及び災害指定病院の指定を受けた松阪市民病院、松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院の3か所の総合病院が、圏域の医療拠点としての役割を担っており、住民の安全で安心な暮らしを支えています。

■松阪市民病院の利用状況(平成22年度)

(単位:人)

	患者数					
	松阪市	多気町	明和町	大台町	その他	計
外来患者数	113,619	6,836	3,454	3,072	16,715	143,696
入院患者数	3,842	266	198	192	915	5,413
休日・夜間	2,679	302	146	55	471	3,653
救急搬送者	1,605	131	125	55	267	2,183

※松阪市民病院提供資料より

■松阪市休日夜間応急診療所の利用状況(平成22年度)

(単位:人)

	松阪市	多気町	明和町	大台町	その他	計
患者数	9,743	662	636	163	1,061	12,265

※松阪市保健部健康推進課資料より

②教育機能

本市には高等教育機関として、圏域唯一の大学である三重中京大学のほか、県立高校が4校、私立高校が1校あり、圏域を含め周辺市町から多数の学生が通学しています。（※三重中京大学は、平成25年3月末日をもって閉学の予定です。）

■三重中京大学の学生数（平成23年5月1日現在）

（単位：人）

	松阪市	多気町	明和町	大台町	その他	計
学生数	82	4	4	1	148	239

※三重中京大学提供資料より（平成23年5月1日現在、在籍学生は1学部3、4年のみ）

■市内高等学校の生徒数（平成23年5月1日現在）

（単位：人）

学校名		松阪市	多気町	明和町	大台町	その他	計
県立	松阪高等学校	543	48	73	40	250	954
	松阪工業高等学校	452	27	44	12	166	701
	松阪商業高等学校	315	21	50	19	182	587
	飯南高等学校	195	29	1	0	1	226
私立	三重高等学校	967	46	49	26	516	1,604

※各高等学校提供資料より

③商工業機能

JR松阪駅前にはベルタウンをはじめとする駅前商店街が軒を並べ、市内各所に大手スーパーや家電量販店、ファミリーレストランなどの店舗や、多数の郊外型大型商業施設が立地しており、圏域の住民の暮らしを支えています。

また、松阪港周辺や松阪中核工業団地などには、大手企業の工場が多数立地しており、産業の振興と、本市や周辺市町の雇用促進に繋がっています。現在、新たに開発された西野工業団地や天花寺工業団地などへの企業誘致が進められており、今後の産業活性化が期待されています。

■本市の商業の概要

	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（百万円）
卸売業	470	3,392	208,151
小売業	1,702	10,733	178,958

※平成19年商業統計調査より

■本市の工業の概要

事業所数	従業員数（人）	製造品出荷額等（万円）
379	14,171	41,478,203

※平成 21 年工業統計調査より

④交通

市内を走る国道 23 号（中勢・南勢バイパス）、42 号及び 166 号や、高速道路の伊勢自動車道と、これに接続する紀勢自動車道によって周辺町と結ばれており、圏域の交通の結束点として、物流や交流の中心的役割を果たしています。

鉄道はＪＲ紀勢本線、近鉄山田線が通り、また南紀特急バスや、中部国際空港と松阪港を結ぶ高速船「松阪ベルライン」など、圏域と名古屋・大阪圏へのアクセスの中継点としての役割を担っており、南三重の玄関口として、人や物のネットワークに寄与しています。

■市内主要駅の利用者数（平成 22 年度）

（単位：人）

	ＪＲ松阪駅	近鉄松阪駅	近鉄伊勢中川駅
利用者数	614,420	2,378,705	1,288,085

※東海旅客鉄道及び近畿日本鉄道提供資料より（近鉄は 1 日平均利用者数に 365 日乗じた数）

２ 想定される周辺町と連携する具体的事項

圏域での定住促進と地域の自立を図ることを目的に、本市と周辺町が連携して取り組むことを想定している具体的な事項は次のとおりです。

視点	政策分野	取組内容
生活機能の強化	医療	松阪市休日夜間応急診療所や地域の医療機関との連携による一次救急医療体制の維持と充実に関する取組
		市内三大総合病院の病院群輪番制による二次救急医療体制の維持に関する取組
		住民の健康づくりや予防接種等保健衛生に関する取組
		介護保険の要介護認定等に係る審査の充実に関する取組
	福祉	病児・病後児保育への広域的な環境整備と支援に関する取組
	教育	児童生徒への結核感染予防と早期発見、治療に向けた広域的な連携に関する取組
	産業振興	企業誘致や工場用地の確保、企業間交流、人材育成等の広域的な連携に関する取組
		就労支援のための広報活動と情報収集の広域化に関する取組
結びつきやネットワークの強化	環境	不法投棄防止への監視体制の強化と啓発に関する取組
	その他	その他、生活機能の強化に関する取組
	交通インフラの整備	圏域内の国道及び県道の整備促進と主要幹線道路や生活道路の整備に関する取組
	地域内外の住民との交流・移住促進	観光ネットワークの構築による観光戦略の広域化に関する取組
圏域マネジメント能力の強化	その他	その他、結びつきやネットワークの強化に関する取組
	圏域内市町村の職員等の交流	職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化のための合同職員研修の実施に関する取組
	その他	その他、圏域マネジメント能力の強化に関する取組

3 本市への通勤通学の状況

本市へは、周辺町から多数の住民が通勤・通学しており、中南勢地域における産業と教育の中心的役割を果たしています。

■本市との連携が想定される周辺町の通勤通学割合

	通勤通学割合 [A/B]	本市に対して通勤通学する就業者及び通学者数 [A] (人)	常住する就業者数及び通学者数 [B] (人)
多気町	0.3295	2,466	7,483
明和町	0.2485	2,731	10,989
大台町	0.1659	810	4,880

※平成 17 年国勢調査より（常住する就業者は自宅従業者を除く）

なお、上記 3 町のほか、度会郡玉城町及び大紀町が、定住自立圏構想推進要綱に規定する「通勤通学割合 0.1 以上」に該当している。（玉城町：0.1366、大紀町：0.1148）

4 本市及び連携が想定される周辺町の人口の状況

本市及び多気町、明和町では、これまで大規模団地の造成や大手企業の立地に伴って人口は増加傾向にありましたが、近年の景気低迷と少子高齢化の進展により、平成 22 年には本市及び多気郡 3 町の総人口は減少に転じています。今後は、人口減少がさらに進むことが想定されます。

■人口の推移

（単位：人）

	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
松阪市	153,185	158,155	159,625	163,131	164,504	168,973	168,146
多気町	16,054	16,174	15,691	15,644	16,149	15,793	15,436
明和町	19,504	20,724	21,484	21,853	22,300	22,618	22,834
大台町	13,172	12,982	12,144	11,758	11,399	11,099	10,419
計	201,915	208,035	208,944	212,386	214,352	218,483	216,835
増加率	—	3.03	0.43	1.64	0.92	1.92	-0.99

※各年国勢調査より